

芦屋市立潮芦屋交流センターの管理業務に関する事業報告書

(事業年度 令和6年4月1日～令和7年3月31日)

芦屋市長 高島 峻輔 様

名 称 NPO法人芦屋市国際交流協会
 報告者 所在地 芦屋市大原町2番6 ラ・モール芦屋203号
 代表者 会長 戸田 敬二

管理業務の実施状況	1) 施設の維持・管理体制 -1 施設の保守については、開館前に早朝点検を行っている。夜間閉館前点検は、管理委託先から派遣される夜間管理者に実施を指導している。 -2 設備の保守については、受電装置、自動ドア、エレベータ、冷暖房機器、駐車場設備等大型設備は全て保全管理会社と保守契約を結び、定期保守点検を実施しており、異常はなかった。 別紙「年間点検業務委託実績表」及び「保守・管理業務報告書(施設維持管理業務報告書)」を参照下さい。 -3 施設内外の清掃については、日常清掃は清掃業者に委託しており、植栽作業等は、別途専門業者に委託した。 -4 テニスコートの亀裂部分の砂補充を水曜日および雨天を除く毎日実施した。 -5 備品管理については、新規購入・廃棄のたびに届を提出し、リストと現物が合致するよう管理している。 2) 危機管理 -1 緊急時に備え「危機対応マニュアル(地震・防犯・防火・災害時・感染症)」を作成し、全事務職員(夜間管理者を含む)に対し、緊急時の行動指示を徹底している。 平常時からBCP(事業継続計画)を周到に準備し、緊急時に事業の継続・早期復旧を図っている。 不審者の侵入対策として、事務局に刺股を備え、3月に職員による不審者対応訓練を行った。正面玄関等には「警察官立寄り所」「監視カメラ作動中」の警告表示にて注意喚起を行っている。 -2 AED取り扱いについては、事務局長を含め職員並びに夜間受付担当者が芦屋市消防署の普通救命講習を修了している。 -3 防火防災管理については、正副の防火管理者を定め、高浜分署の協力のもと、年2回の消防避難訓練を実施している。1回目は2月、2回目は3月に自衛消防訓練を実施した。 また、事務局長含め正規職員全員が、甲種防火管理者及び防災管理者の資格を取得し、防火防災に対する意識の高揚と自己啓発を行っている。 -4 各種イベントでの食に対する安全性確保のため、職員4名が「食品安全衛生責任者」の資格を取得している。 -5 玄関入口と受付に消毒液を設置し、また共同スペースやトイレを毎日定期的に消毒して衛生管理を徹底している。 -6 近隣で発生した事件の犯人が逃走した旨の連絡を受け、利用者への迅速な避難誘導を行った。その後、利用者と情報を共有して安全な利用を確保した。 3) 個人情報の管理 個人情報の管理については、内規にて管理者の設置、資料の外部への持ち出しの禁止、第三者への漏洩の防止義務を定め事務職員に守秘義務を課し、紙情報は常に鍵のかかる棚で保管し、破棄すべきものは全てシュレッダーをしている。また、マイナンバーの管理については、「特定個人情報等取扱規程」を定め、紙媒体資料を貸金庫にて保管を行っている。
-----------	---

施設の利用状況

	利用者数(延べ)		利用率	
	実績(人)	計画対比(%)	実績(%)	計画対比
潮芦屋集会所(1階)	18,697	93%	53%	3ポイント減
国際交流センター(2階)	95,066	106%	40%	0
屋外交流広場	20,543	103%	81%	3ポイント減
合 計	134,306	103%	55%	0

・詳細は別紙「潮芦屋交流センター年間利用状況」を参照。

使用料又は利用料金の収入実績

	利用料金	
	実績	計画対比
潮芦屋集会所(1階)	¥2,589,120	93%
国際交流センター(2階)	¥4,457,410	103%
屋外交流広場	¥5,905,440	95%
キャンセル返還差額	¥29,300	—
附属設備等	¥542,680	87%
駐車場利用料	¥2,014,400	117%
合 計	¥15,538,350	99%

キャッシュレス決済割合(10月～3月)	
CL決済件数	202
全決済件数	3,750
CL決済利用率	5.4%

外国人生活相談件数及び通訳実績

対応言語	件数
英語	13
中国語	0
日本語	9
合 計	22

通訳登録者増数	人数
英語	2
中国語	1
合 計	3

通訳実績	件数
中国語	10
合 計	10

利用者サービスの向上策	-1 「ご意見箱」を常設するとともに窓口でのお声掛けや日常会話などの自然な声掛け、コミュニケーションから意見を吸い上げ、きめ細やかなサービスと質の向上を図った。 -2 年1回お客様アンケートをWEBと紙の併用で実施することで幅広い利用者の声を収集した。より丁寧にかつ誠実に対応することで満足してもらえるサービスの提供を図った。 また、イベント毎にアンケートを実施し、担当委員会で検討し次回に繋げることで参加者の要望を満たすことができた。 -3 ホームページを多言語化することで言葉の壁を取り除いた情報提供を図った。 -4 熱中症対策として、各コート用に日傘を無料貸し出しをするとともに、緊急用に保冷剤と経口補水液を事務局で常備した。火照った際や、ボールが当たった等には氷の提供をしてサポートした。 -5 利用者や道行く市民にやすらぎと季節感を感じてもらえるように、玄関前の花壇には常に色とりどりの花を絶やさず、3月は雛人形、5月は武者人形を飾り、12月にはクリスマスツリーを飾って季節の移り変わりを楽しんでいただいた。利用者からは来館時は花壇が楽しみである旨のコメントを頂いた。 -6 出入口にアルコール、各トイレにペーパータオルを設置し、衛生環境を整えた。 -7 定期的な貸室利用者には無償でロッカーを提供し利用しやすい環境作りをした。 -8 貸室利用者の要望があれば、延長コード、ホワイトボードマーカー、台車、加湿器、車イスの無償貸し出しをした。 -9 固定鏡の無い場所でも使用出来る移動式鏡4面を無償で貸し出した。 -10 オープンスペースにミニライブラリーを設置し英字新聞(ジャパンタイムス)、絵本や洋書を配架して近隣住民や利用者に毎日利用いただいた。 -11 市内及び近隣で開催されるイベント案内チラシを、来館者が手に取りやすい様に工夫し配置した。 -12 オープンスペースにコピー機を設置し、施設利用者のみならず近隣住民への利便を図った。 -13 給湯室に無料利用の冷蔵庫を設置し、夏場に大いに利用頂いた。 -14 希望者にはピアノ、卓球台とラケット、ボールの無償貸し出しをした。 -15 和室(104室)利用向上の策として、正座をしなくても座れる低い椅子を4脚とスリッパ4足を配した。また、机・イスの利用希望者には畳上に敷く絨毯を無料貸し出すことで机イス利用可能にした。 -16 月初めに実施する施設管理・運営管理に関する会議で情報共有し、要望や改善点を洗い出して迅速に対応した。(和室で机の使用を希望した利用者に無料で絨毯を貸し出して使用可能にした) -17 調理室のオープンを高機能200Vに入れ替えて、予てから頂いていた焼きムラの不満の声を解消した。 -18 寄付された傘を「善意の傘」として無料で貸し出し、利用者のみならず来館者にご利用頂いた。 -19 雨天後のテニスコート利用者には濡れたベンチの雨水を払うスクイージーを無償でお貸しして快適な利用の手助けをした。 -20 施設利用者が開催している教室の案内をすることで利用者の増加を図ると共に利用率の向上にもつながった。 -21 当日利用に限り電話予約を受け付けることで利用者の利便性を図った。
--------------------	--

近隣居住者との共存の取組	-1 近隣の団体「潮芦屋ふれあい元気の会」のメンバーとして地域団体や地域住民と連携して地域間交流の一端を担った。地域活性化を目的とする数回のイベントに携わり近隣住民、団体、施設との共存を図った。 構成団体：市営南芦屋浜団地自治会、陽光町6番自治会、陽光町寿光会、医療法人昭圭会南芦屋浜病院さくらの園、シニアライフコート潮芦屋シニアライフパレス潮芦屋、グループホーム「マイホーム芦屋」、複合介護施設陽光苑、高齢者総合福祉施設愛しや、社会福祉法人さくらえんあしや喜楽苑、ユニバーサルボランティア神戸、芦屋緑作業所、わいわい食堂、潮芦屋ろじもん市、あしや福介家、潮芦屋げんきCafé、潮芦屋マリーナセンター、潮見高齢者生活支援センター、芦屋市社協、地域福祉アクションプログラム推進協議会、芦屋クリニックのぞみ、芦屋大学サッカー部、若葉町七番自治会、わかば子ども食堂、南芦屋浜コミュニティ&アートわくわく会議、NPO法人芦屋まちづくり倶楽部 -2 地域8町7自治会・2町内会が開催する防災イベントに、芦屋大学留学生多言語相談員8名を炊き出し要員として派遣し、市民との和やかな交流を図ることでお互いの理解を深める機会を創出した。 -3 近隣自治会の会合には部屋利用やプロジェクターなどの機器利用を無料で提供し、自治会運営に協力した。 -4 赤ちゃんの駅を設置し、授乳やおむつ交換を気持ち良くして頂ける場所を無料提供し、多くの方に利用頂いた。 -5 「ひとり役活動」と連携し地域のボランティア活動の活性化に寄与し、生き甲斐や活動の励み場所を提供した。 -6 近隣住民から花苗の提供があり、職員と一緒に植え替え作業を行うことで相互の交流を図った。 -7 保健センター出張健診「乳がん検診」の受け入れで、エントランスと関係者駐車場を開放し、近隣住民に利用いただいた。 -8 オープンスペースの一角に自習スペースを設け、近隣の子ども達の安心できる憩いの場や、受験勉強、宿題などの自主勉強の場所として大いに利用していただいた。また、子どもが利用しない時間帯には高齢者の趣味の場や交流の場としても利用して頂いた。 -9 近隣在住の子どもが学校と自宅の中継施設として安心して利用できる身近な施設になるように、挨拶や声掛けで職員が優しくきめ細やかに接して子どもが困った際の駆け込み寺的存在として役立った。 -10 近隣小学校（潮見小学校）の要請で街探検を受け入れ、児童にセンターを案内・紹介した。 -11 潮見小学校からの依頼で「国際交流について」の社会科授業の出張講師を派遣し、将来のある子ども達に良い影響を与えて頂いたと感謝してもらった。 -12 芦屋大学の要請で茶道体験に10名の学生を受け入れた。 -13 芦屋国際学院神戸校の要請で茶道体験に109名の学生を受け入れた。 -14 県立芦屋高校の依頼で姉妹都市交流を中心に国際交流について紹介した。 -15 市民が気軽に立ち寄れる親しみある施設にするために、積極的にイベントや活動の情報を発信した。 -16 日本語子ども教室に市内在住の高校生がボランティアとして参加することで、多文化共生の取組みを伝えることができた。 -17 英語版ゴミカレンダーを配架して近隣住民同士のゴミトラブル回避に役立った。
---------------------	---

潮芦屋交流センター 年間利用状況 令和6年度

潮芦屋集会所														
	(a) 総 区分 数	(延) 利用 者 数	(実) 利用 者 数	利用区分数(b)						(b / a) 利 用 率	利用料金			
				指定 管理者	全額 免除	3割 減免	一般	加算	小計		3割減免	一般	加算	小計
101号	918	4,096	3,577	3	8	4	502	0	517	56%	5,370	990,310	0	¥995,680
102号	918	10,571	5,542	27	27	3	492	0	549	60%	3,010	769,180	0	¥772,190
103号	918	2,528	2,105	17	19	9	526	2	573	62%	4,850	452,660	3,040	¥460,550
104号 (和室)	918	1,502	1,304	14	1	1	252	38	306	33%	790	283,150	76,760	¥360,700
合計	3,672	18,697	12,528	61	55	17	1,772	40	1945	53%	¥14,020	¥2,495,300	¥79,800	¥2,589,120
													キャンセル	¥2,640

国際交流センター														
	(a) 総 区 分 数	(延) 用 者 数	(実) 用 者 数	利用区分数(b)						(b) / a 利 用 率	利用料金			
				指定 管理者	全額 免除	3割 減免	一般	加算	小計		3割減免	一般	加算	小計
201室	1,224	30,822	12,839	60	21	40	507	2	630	51%	¥57,280	¥1,070,710	¥5,680	¥1,133,670
202室	1,224	22,289	5,305	47	21	25	379	0	472	39%	¥39,440	¥799,400	¥0	¥838,840
203室	1,224	22,360	4,458	64	21	52	531	0	668	55%	¥74,170	¥1,129,000	¥0	¥1,203,170
204室	1,224	10,407	5,291	209	30	5	374	0	618	50%	¥5,290	¥739,350	¥0	¥744,640
205室	1,224	5,623	4,659	388	55	33	261	5	742	61%	¥19,460	¥352,300	¥9,120	¥380,880
206調理室	1,224	1,737	733	44	7	5	46	0	102	8%	¥7,350	¥95,000	¥0	¥102,350
206試食室	1,224	1,828	804	155	10	4	25	1	195	16%	¥3,660	¥46,860	¥3,340	¥53,860
合計	8,568	95,066	34,089	967	165	164	2,123	8	3,427	40%	¥206,650	¥4,232,620	¥18,140	¥4,457,410
以下は多目的（201.202.203）として利用した内数													キャンセル	¥11,540
（再掲）多目的室として	1,224	7,457	2,746	55	12	12	32	0	111	9%	¥56,170	¥188,880	¥0	¥245,050
（再掲）206室として	1,224	1,186	502	43	8	4	10	0	65	5%	¥7,700	¥26,000	¥0	¥33,700

屋外交流広場															
		(a) 総 区分 数	(延) 利用 者 数	(実) 利用 者 数	利用区分数(b)						(b / a) 利 用 率 (%)	利用料金			
					指定 管理者	全額 免除	3割 減免	一般	加算	小計		3割減免	一般	加算	小計
屋 外 交 流 広 場	A	1,675	7,620	7,103	0	0	0	1,537	3	1,540	92%	¥0	¥2,213,280	¥8,640	¥2,221,920
	B	1,699	5,933	4,450	0	0	0	1,106	2	1,108	65%	¥0	¥1,592,640	¥5,760	¥1,598,400
	C	1,685	6,990	5,829	0	0	0	1,444	2	1,446	86%	¥0	¥2,079,360	¥5,760	¥2,085,120
合計		5,059	20,543	17,382	0	0	0	4,087	7	4,094	81%	¥0	¥5,885,280	¥20,160	¥5,905,440
(再掲) 屋外交流 広場として		1,627	0	0	0	0	0	0	0	0	0%	¥0	¥0	¥0	¥0
クローズ件数		178												キャンセル	¥15,120

総合計														
	(a) 総区分数	(延) 利用者数	(実) 利用者数	利用区分数(b)						(b / a) 利用率	利用料金			
				指定 管理者	全額 免除	3割 減免	一般	加算	合計		3割減免	一般	加算	合計
	17,299	134,306	63,999	1,028	220	181	7,982	55	9,466	55%	220,670	12,613,200	118,100	¥12,951,970
キャンセル													¥29,300	

単位： 総区分数、利用区分数 (件)
利用者数 (人)

令和6年度 潮芦屋交流センター利用率一覧

単位：総区分・利用区分（件），利用率（％）

	4月			5月			6月			7月		
	総区分	利用区分	利用率	総区分	利用区分	利用率	総区分	利用区分	利用率	総区分	利用区分	利用率
潮芦屋集会所	312	160	51%	312	164	53%	312	168	54%	312	161	52%
国際交流センター	728	280	38%	728	244	34%	728	257	35%	728	288	40%
屋外交流広場	416	330	79%	389	330	85%	409	329	80%	430	308	72%
総合計	1,456	770	53%	1,429	738	52%	1,449	754	52%	1,470	757	51%

	8月			9月			10月			11月		
	総区分	利用区分	利用率	総区分	利用区分	利用率	総区分	利用区分	利用率	総区分	利用区分	利用率
潮芦屋集会所	324	144	44%	312	164	53%	312	164	53%	312	165	53%
国際交流センター	756	273	36%	728	285	39%	728	310	43%	728	280	38%
屋外交流広場	459	340	74%	456	364	80%	413	343	83%	432	372	86%
総合計	1,539	757	49%	1,496	813	54%	1,453	817	56%	1,472	817	56%

	12月			1月			2月			3月			計		計画
	総区分	利用区分	利用率	総区分	利用区分	利用率	総区分	利用区分	利用率	総区分	利用区分	利用率	総区分	利用区分	利用率
潮芦屋集会所	276	156	57%	276	160	58%	288	167	58%	324	172	53%	3,672	1,945	53%
国際交流センター	644	296	46%	644	267	41%	672	316	47%	756	331	44%	8,568	3,427	40%
屋外交流広場	412	337	82%	401	327	82%	417	350	84%	425	364	86%	5,059	4,094	81%
総合計	1,332	789	59%	1,321	754	57%	1,377	833	60%	1,505	867	58%	17,299	9,466	55%

令和5年度 潮芦屋交流センター部屋別 延べ利用人数一覧

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
潮芦屋集会所	1,769	1,512	1,551	1,496	1,307	1,756	1,801	1,539	1,578	1,368	1,338	1,682	18,697
国際交流センター	5,430	5,730	5,833	8,174	8,364	6,399	13,898	6,295	8,702	7,752	10,265	8,224	95,066
屋外交流広場	1,691	1,850	1,623	1,539	1,664	1,815	1,746	1,943	1,601	1,609	1,687	1,775	20,543
総合計	8,890	9,092	9,007	11,209	11,335	9,970	17,445	9,777	11,881	10,729	13,290	11,681	134,306

NO.	公募時				年度計画内容	実施結果		
	提案内容	提案内容詳細	実施時期	実施回数		実施内容	参加人数	実施回数
【本来事業】								
1	在在外外国人参画企画イベント 地域住民と在在外外国人との交流イベント	外国人支援委員会に参画して、外国人の意見を反映したイベントの開催。 芦屋市民と市内在住外国人とが英語で交流する場を提供。 芦屋市民と市内在住外国人とが日本語で交流する場を提供。	毎年	3回以上	外国人支援委員会に参画して、外国人の意見を反映したイベントの開催。 コスモかふえ 英語版、コスモかふえ 日本語版 ほか	外国人支援委員会に参画している外国人企画「外国人がわかるイベント紹介のライン」を開設した。 コスモかふえ 英語版、コスモかふえ 日本語版をそれぞれ1回ずつ開催した。	102人	3回
4	日本語ボランティア講師養成・研修	外部の専門講師の指導を受け、質の高い日本語を教えられるボランティア講師を養成。 市内のボランティア日本語講師向けにブラッシュアップ研修を行い、高いレベルを維持しながら学習者に日本語を教えられることを目指します。	毎年	2回以上	外部の専門講師の指導を受け、質の高い日本語を教えられるボランティア講師を養成。 市内のボランティア日本語講師向けにブラッシュアップ研修を行い、高いレベルを維持しながら学習者に日本語を教えられることを目指します。	日本語ボランティア養成講座全7回コースを1回、ブラッシュアップ研修1回を開催した。	89人	2回
5	災害時外国人協力者の育成・研修	災害時外国人協力者の育成・研修				外国人ボランティアを自治会が開催する防災訓練に参加させ、簡易ベッドの組み立て、炊き出し、放水体験をした。		
6	外国語の翻訳・通訳ボランティア養成・研修	外国語の翻訳・通訳ボランティア養成・研修						
7	多文化共生に関する情報提供SNS利用	多文化共生に関する各種情報を収集し、幅広い層へ情報を提供。	随時		多文化共生に関する各種情報を収集し、幅広い層へ情報を提供。	多文化共生に関する各種情報を収集し、幅広い層へ情報を提供した。	-	随時
8	国際理解(多文化共生)講演会	諸外国の実情の理解を深める内容や世界平和に役立つ内容など市民が大きな関心を寄せるテーマに関するセミナーを開催。	毎年	1回	諸外国の実情の理解を深める内容や世界平和に役立つ内容など市民が大きな関心を寄せるテーマに関するセミナーを開催。	「アフリカデーインあしや」としてJICA 関西所長のアフリカに関する講演とアフリカン音楽とダンスで異文化理解を図った。	170人	1回
9	日本語教室	市内在住の外国人に対して、日本での生活がスムーズに送れるように、日常会話の習得を目的とした日本語教室を実施。学習者のニーズに応じたレベル・内容をマンツーマンで指導。	毎年	週4日全5クラス	市内在住の外国人に対して、日本での生活がスムーズに送れるように、日常会話の習得を目的とした日本語教室を実施。学習者のニーズに応じたレベル・内容をマンツーマンで指導。	週4日全5クラス	1,406人	703回
10	こども日本語教室	小学生を対象にした、日本語学習のサポート。	毎年	週1日全1クラス	小学生を対象にした、日本語学習のサポート。	週1日全1クラス	470人	41回
11	市内在住外国人向け多言語防災情報の提供	芦屋市が発信する防災情報や内閣府ホームページの防災情報を常に確認し、新しい情報をキャッチして潮芦屋交流センターのホームページにやさしい日本語と多言語で掲載。	随時		芦屋市が発信する防災情報や内閣府ホームページの防災情報を常に確認し、新しい情報をキャッチして潮芦屋交流センターのホームページにやさしい日本語と多言語で掲載。	芦屋市が発信する防災情報や内閣府ホームページの防災情報を常に確認し、新しい情報をキャッチして潮芦屋交流センターのホームページにやさしい日本語と多言語で掲載。	-	随時
12	市内在住外国人向け防災教室	シェイクアウト訓練や避難場所の確認など、実践的な講座を実施。	毎年	1回	シェイクアウト訓練や避難場所の確認など、実践的な講座を実施。	市内日本語教室(ふるさと)と共催で「外国人親子で楽しむ料理教室&防災教室」を開催した。	28人	1回
13	多言語相談窓口	英語は随時、中国語は土日曜、スペイン語は予約制、芦屋大学と連携して留学生を外国人有償ボランティア通訳者として活用してベトナム語、ネパール語、インドネシア語等で対応します。更に、音声自動翻訳機を導入して多言語対応も可能にします。 社会福祉協議会と協働で年に1回多言語(英語・中国語・スペイン語・ベトナム語・その他1言語)による相談会を開催します。	毎年	言語月1回以上	英語は随時、中国語は土日曜、スペイン語は予約制、芦屋大学と連携して留学生を外国人有償ボランティア通訳者として活用してベトナム語、ネパール語、インドネシア語等で随時対応します。更に、音声自動翻訳機を導入して多言語対応も可能にします。 社会福祉協議会と協働で年に1回多言語(英語・中国語・スペイン語・ベトナム語・その他1言語)による相談会を開催します。	英語は随時、中国語は土日曜、スペイン語は予約制、芦屋大学と連携して留学生を外国人有償ボランティア通訳者として活用してベトナム語、ネパール語、インドネシア語等で随時対応した。相談件数は年間22件。 相談窓口通訳者は初級編研修1回、上級編研修1回を受講。初級編研修には日本語ボランティア、芦屋市国際交流協会理事、監事も参加した。	96人	各言語月1回以上
14	姉妹都市交流	学生親善使節交換事業	毎年	1回	学生親善使節交換事業	別紙「SA事業報告」参照	801人	1回
15	姉妹都市交流	姉妹都市提携周年事業(モンテペロ市民訪問団受け入れ)	令和8年	1回	-	-	-	-
16	姉妹都市の情報提供	姉妹都市交流の歴史や事業について、市民の関心と理解を深めてもらうべく、情報掲示板・情報コーナーなどを利用して情報を提供します。	毎年	1回	姉妹都市交流の歴史や事業について、市民の関心と理解を深めてもらうべく、情報掲示板・情報コーナー、広報あしやなどを利用して情報を提供します。	広報あしや1月号に姉妹都市学生親善使節の特集記事を掲載したほか、学生親善使節募集と決定者の紹介、ホストファミリー募集、交流イベントなども広報あしやに掲載した。	-	1回
17	国際交流関係団体等のマネジメント	・日本語ボランティアの能力向上を図るため、市内教室運営団体と連携し、「日本語ブラッシュアップ研修」を開催し、活動を支援します。 ・市内の日本語教室運営団体と連携し、日本文化を紹介する教室(茶道・書道・華道)を開催します。 ・阪神間国際交流協会(阪神・丹波ブロック会議)、ひょうご国際交流団体連絡協議会で、国際交流に関する活動情報を共有し、センターでの活動に活用します。 ・芦屋市帰国・外国人児童生徒支援連絡協議会の委員として、外国にルーツを持つ子どもたちの支援に取り組みます。	随時		・日本語ボランティアの能力向上を図るため、市内教室運営団体と連携し、「日本語ブラッシュアップ研修」を開催し、活動を支援します。 ・市内の日本語教室運営団体と連携し、日本文化を紹介する教室(茶道・書道・華道)を開催します。 ・阪神間国際交流協会(阪神・丹波ブロック会議)、ひょうご国際交流団体連絡協議会で、国際交流に関する活動情報を共有し、センターでの活動に活用します。 ・芦屋市帰国・外国人児童生徒支援連絡協議会の委員として、外国にルーツを持つ子どもたちの支援に取り組みます。	「日本語ブラッシュアップ研修」に市内日本語ボランティア教室の運営団体から2名が参加し活動を支援した。市内日本語学校「芦屋国際学院」から109名の学生が茶道体験をした。ひょうご国際交流団体連絡協議会に2回参加した。 精選小学校とモンテペロ市3校との交流を担った。 県立芦屋高校から生徒4名と引率教師1名の訪問があり、姉妹都市交流事業を中心に国際交流について紹介した。 芦屋市帰国・外国人児童生徒支援連絡協議会に2回参加、芦屋市外国人関係団体会議に1回参加した。	-	随時
18	施設パンフレット	英語版、やさしい日本語版、中国語版を作成し利用促進を図ります。	令和6年	1回	英語版、やさしい日本語版、中国語版を作成し利用促進を図ります。	英語版、やさしい日本語版、中国語版を作成し利用促進を図った。	-	1回
19	施設のホームページ運営	施設のホームページ運営(やさしい日本語、英語、簡体中文、繁体中文、ハングル、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語)	随時		施設のホームページ運営(やさしい日本語、英語、簡体中文、繁体中文、ハングル、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語)	施設のホームページを多言語化(やさしい日本語、英語、簡体中文、繁体中文、ハングル、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語)した。	-	随時
20	施設の提供に関する事	意見箱、アンケート、OJT研修、定例ミーティング利用率向上の為に工夫・トーナメント試合を開催してテニス利用を呼び込む。施設利用の当日分の申し込みを電話で受付可能にします。	随時		意見箱、アンケート、OJT研修、定例ミーティング利用率向上の為に工夫・トーナメント試合を開催してテニス利用を呼び込む。施設利用の当日分の申し込みを電話で受付可能にします。	意見箱、アンケート、OJT研修、定例ミーティングを行った。 利用率向上の為に工夫・トーナメント試合を開催してテニス利用を呼び込んだ。施設利用の当日分の申し込みを電話で受付可能にした。	-	随時

【自主事業】								
1	世界の料理教室	「作って食べよう世界の料理」をキャッチフレーズに、世界の国々の代表的な料理に加えて異国の文化や習慣などを市内在住外国人からその国の紹介をしていただく教室。	毎年	月1回 (除8月、1月)	4月「コスタリカ編」、5月「イギリス編」、6月「ロシア編」、以降未定	4月「コスタリカ編」、5月「イギリス編」、6月「ロシア編」、7月「イタリア編」、9月「フランス菓子」、10月「モロッコ編」、11月「フィリピン編」、12月「アメリカパーティー編」、2月「インド編」、3月「ウクライナ編」	220人	月1回 (除8月、1月) 全10回
2	潮芦屋セミナー	市民により広い視野を持ってもらえるよう国際時事、人生談義、趣味の世界、最新技術などのセミナーを開催。講師は、外国人、実業家、学識経験者など。	毎年	2回	4月「ウクライナと日本の交流」、6月「英語落語」	4月「ウクライナと日本の交流」、6月「英語落語」	112人	2回
3	潮芦屋コンサート	市民に気軽に世界の音楽を楽しんでもらうよう、クラシック、ハワイアン、ジャズ、ポピュラー、ロック、邦楽演奏まで、幅広いジャンルのコンサートを開催し、芦屋市の文化レベルをさらに高めることを目指します。	毎年	3回	7月「ハワイアン」、12月「ジャズ」、以降未定	7月「ハワイアン」、12月「ジャズ」、3月「スプリングコンサート」	274人	3回
4	ワールドフェスタ	オータムフェスタと連携して、コンサートと世界の料理をコラボレーションさせて市民に提供します。	毎年	1回	10月ワールドフェスタ「ステージと世界の料理、世界の雑貨の買い物を楽しむ」	世界の料理と茶菓「ベトナム、スペイン、台湾、中国、モンゴル、韓国、日本、スリランカ」 ステージ「馬頭琴、コーラス、ハンドベル、ストリートダンス」 スリランカ雑貨販売とバザー開催 茶道教室学習者によるお茶席の開催	1,002人	1回
5	英会話教室	外国人講師による英会話教室の開催。	毎年	週4日全5クラス	外国人講師による英会話教室の開催。	外国人講師による英会話教室を開催した。	1,362人	174回
6	英語教室	日本人講師によるトラベル英語、初級英語教室の開催。	毎年	週2日全2クラス	日本人講師によるトラベル英語、初級英語教室の開催。	日本人講師によるトラベル英語、初級英語教室を開催した。	409人	71回
7	日本伝統文化教室	芦屋市に在住する外国人に対して、日本の伝統文化に触れてもらう機会をつくる(華道、茶道、書道)。	毎年	各6回	芦屋市に在住する外国人に対して、日本の伝統文化に触れてもらう機会をつくる(華道、茶道、書道)。	芦屋市に在住する外国人に対して、日本の伝統文化に触れてもらう機会をつくる(華道、茶道、書道)。	華道31人 茶道175人 書道35人	華道8回 茶道11回 書道10回
8	やさしい日本語講座と普及活動	ボランティアが必要な情報をやさしい日本語で発信できるように研修する。また、芦屋市民向けに「やさしい日本語」を学んでいた教室の開催。	毎年	1回	ボランティアが、必要な情報をやさしい日本語で発信できるように研修する。また、芦屋市民向けに「やさしい日本語」を学んでいた教室の開催。	兵庫県国際交流協会のやさしい日本語普及事業の講師派遣制度を利用して「やさしい日本語講座」を開催し、養成講座修了者および一般市民が参加した。	16人	1回
9	外国人向け情報紙の発行	「コスモジャーナル」として外国人に周知したい記事や役立つ内容をやさしい日本語で発行。ホームページに掲載することで、英語、簡体中文、繁体中文、ハンガール、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語変換も可能にする。	毎年	6回	「コスモジャーナル」として外国人に周知したい記事や役立つ内容をやさしい日本語で発行。ホームページに掲載することで、英語、簡体中文、繁体中文、ハンガール、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語変換も可能にする。	6月、8月、10月号を発行した。紙媒体で情報を得る人が減ったことで以降は廃刊とした。	13人	3回
10	文化イベント	市内在住外国人に対して、日本の伝統文化に触れ、理解してもらうためのイベントの開催。	毎年	1回	市内在住外国人に対して、日本の伝統文化に触れ、理解してもらうためのイベントの開催。	「セタまつり」を開催、日本語スピーチ大会も同時開催した。	68人	1回
11	体験学習(施設見学)	国際交流のための日帰りの施設見学(体験学習などを含む)を実施。	毎年	1回	国際交流のための日帰りの施設見学(体験学習などを含む)を実施。	外国人支援委員の外国人委員が企画した「芦屋市図書館訪問」を実施。こども司書による読み聞かせと図書館の利用方法を学んだ。	30人	1回
12	施設活用事業の住民との協働	地域住民との懇話会を開催し、協働で施設を活用した事業の取り組みを目指す。	毎年	1回	地域住民との懇話会を開催し、協働で施設を活用した事業の取り組みを目指す。	地域住民・団体グループ「潮芦屋元気の会」の定例会1回/月に参加し、11月「秋祭り」、1月「餅つき」にメンバーとして活動した。 3月には潮見小学校の多文化共生授業の出張授業を担った。	100人	10回
13	地域ボランティア活動との連携	「ひとり役活動」と連携して潮芦屋交流センターのガーデンを地域住民と在住外国人に開放し、ボランティアガーデナーとして活用することで、相互の交流を図ります。	毎年	随時	「ひとり役活動」と連携して潮芦屋交流センターのガーデンを地域住民と在住外国人に開放し、ボランティアガーデナーとして活用することで、相互の交流を図ります。	「ひとり役活動」と連携し、2月、3月のイベント設営を担って頂いた。 近隣住民によるボランティアガーデナーがセンターの花壇とモンテペロ50周年記念バラの手入れを定期的にして頂いた。	17人	随時

令和6年度姉妹都市交流事業(学生親善使節交換)報告

第58回姉妹都市学生親善使節交換事業

芦屋市と米国モンテベロ市との間で、58回目の学生親善使節(SA)2名ずつの相互訪問を実施した。

派遣使節

- ・橋本 菜央(高校2年・女性)(期間:7/29～8/20)
- ・芝吹 知宏(高校1年・男性)(期間:7/31～8/20)

受入使節(期間:7/23～8/12)

- ・アイザック・フロレス(高校3年・男性)
- ・ベン・リチャーズ(高校2年・男性)

ホームステイ状況

芦屋市の学生親善使節の家庭でモンテベロ市の学生親善使節1名ずつを1週間受け入れるとともに、一般市民からホストファミリーを4家庭募り、各家庭にモンテベロ市の学生親善使節1名ずつのホームステイを約1週間引き受けていただいた。

1週目の1家族から6日目に新型コロナ感染者が発生した為、ベン・リチャーズを芦屋市内のホテルで1泊を隔離し、感染検査で陰性を確認した後、2週目の受け入れ宅に移動した。

実施した主要行事

- ・市長・議長・消防署長・警察署長表敬訪問、華道体験、市長と学生のディスカッション、歓送迎会(7/24)
- ・能体験、市内観光(7/26)
- ・サマーカーニバルで花火鑑賞(7/27)
- ・ハワイアンコンサートで紹介(7/28)
- ・芦屋学園訪問(7/30)
- ・広島ツアー(平和学習)(7/31)
- ・山手中ESS訪問(8/1)
- ・打出浜小学校訪問(8/6)
- ・書道体験、さよならパーティー(8/10)
- ・帰国報告会(9/15)

19名のホストアンバサダーはホスト役として積極的に行事に参加して交流活動の活性化を図った。

市民との交流では、打出浜小学校、山手中学校、芦屋学園高校を訪問し、学校関係者、児童、生徒および保護者と親交を深める事ができた。

期間中の公式行事参加人数は573名であった。

第59回姉妹都市学生親善使節の選考結果

次年度派遣の学生親善使節の選考試験は、筆記試験及び面接を行い、下記の2名に決定した。

- ・小西 環輝(高校2年・男性) ・古川 紗裕(高校2年・女性)

管理業務の実施に係る収支状況 2024/4～2025/3月			
収 入		支 出	
項 目	金 額(円)	項 目	金 額(円)
指定管理料	27,758,680	指定管理業務	42,181,688
利用料収入	15,538,350	人件費支出	18,017,901
潮芦屋集会所	2,589,120	給与等	16,163,333
国際交流センター	4,457,410	社会保険料等	1,854,568
屋外交流広場	5,905,440	修繕費支出	1,128,050
キャンセル返還差額	29,300	その他支出	23,035,737
附属設備等	542,680	光熱水費	4,044,916
駐車場	2,014,400	委託料	10,691,064
本事業収入	761,400	手数料	49,665
多文化共生推進事業	264,500	保険料	153,230
在住外国人参画企画イベント	0	備品費	0
コスモかふえ(英語版・日本語版)	37,500	消耗品費	1,767,034
ボランティア育成、研修	160,000	通信費	277,241
多文化共生情報提供	0	印刷費	585,162
国際理解(多文化共生)講演会	67,000	交通活動費	107,570
市内在住外国人に対する支援事業	146,400	研修費	27,346
日本語教室	137,400	諸会費	10,000
こども日本語	9,000	HP維持管理費	235,840
多言語防災情報提供	0	AEDリース料	75,240
外国人向け防災教室	0	キャッシュレス決済導入・運営	550,210
多言語生活相談窓口	0	一般管理費	2,150,000
姉妹都市交流事業	350,500	租税公課	2,311,219
学生親善使節交換事業	350,500	(上記のうち施設の維持管理に係るもの)	
周年事業受け入れ	0	人件費	99,000
姉妹都市の情報提供	0	消耗品費	1,767,034
国際関係団体のマネジメント	0	役務費	480,138
市民の理解・満足度に関するこ	0	光熱水費	4,044,916
施設パンフレット	0	修繕費	1,128,050
ホームページ運営	0	設備等点検費	2,098,932
施設の提供に関すること	0	警備費・管理人費	132,000
自主事業収入	3,697,230	植栽剪定費	269,229
多文化共生事業	1,123,770	清掃業務費	2,317,330
世界の料理教室	572,600	その他委託費	126,200
潮芦屋セミナー	94,200	備品購入費	0
潮芦屋コンサート	186,550	AEDリース料	75,240
ワールドフェスタ	270,420	租税公課	2,311,219
語学教室	2,453,160	本事業支出	2,883,044
英会話教室	1,972,600	多文化共生推進事業	219,367
英語教室	480,560	在住外国人参画企画イベント	0
外国人支援事業	120,300	コスモかふえ(英語版・日本語版)	17,232
文化教室(書道・華道・茶道)	120,300	ボランティア育成、研修	98,275
やさしい日本語講座・普及	0	災害時外国人協力者の育成・研修	38,000
情報紙の発行(コスモジャーナル)	0	多文化共生情報提供	0
文化祭	0	国際理解(多文化共生)講演会	65,860
施設見学	0	市内在住外国人に対する支援事業	476,225
地域住民・市民との協働	0	日本語教室	172,840
地域住民との懇話会	0	こども日本語	55,311
ひとりり役運動	0	多言語防災情報提供	0
その他	64,080	外国人向け防災教室	0
雑収入	27,570	多言語生活相談窓口	248,074
コピー機利用料金	36,510	姉妹都市交流事業	2,182,971
受取利息	7,665	学生親善使節交換事業	2,182,971
		周年事業受け入れ	0
		姉妹都市の情報提供	0
		国際関係団体のマネジメント	4,481
		市民の理解・満足度に関すること	0
		施設パンフレット	0
		ホームページ運営	0
		施設の提供に関すること	0
		自主事業支出	2,755,148
		多文化共生事業	701,091
		世界の料理教室	374,402
		潮芦屋セミナー	85,171
		潮芦屋コンサート	150,905
		ワールドフェスタ	90,613
		語学教室	1,899,098
		英会話教室	1,485,723
		英語教室	413,375
		外国人支援事業	154,959
		文化教室(書道・華道・茶道)	143,507
		やさしい日本語講座・普及	0
		情報紙の発行(コスモジャーナル)	0
		文化祭	9,280
		施設見学	2,172
		地域住民・市民との協働	0
		地域住民との懇話会	0
		ひとりり役運動	0
		支出計	47,819,880
		収支差額	7,525
合 計	47,827,405	合 計	47,827,405

施設名：潮芦屋交流センター

[illegible]

令和6年度潮声屋交流センター保守・管理業務報告書（施設維持管理業務報告書）

施設カテゴリー分類	分類	項目	収支状況の項目	支出額(円)	内容	実施時期	実施回数	実施形態	委託先・契約先等
建物点検	建物設備巡回点検		外部委託保全費	99,000	建物および設備の巡回点検	6月、9月、12月、3月	4回	業務委託	丸正建設株式会社
清掃業務費	清掃業務	館内清掃	外部委託保全費	3,054,447	館内清掃	月・木・土・日曜・2時間・・・2名 火・金・2時間・・・4名	年末年始の休日及び休館日以外	業務委託	(社) 芦屋市シルバー人材センター
		屋外清掃	外部委託保全費		館外植栽区域の清掃	毎週火曜、金曜(各2時間)	週2回	外部委託	(社) 芦屋市シルバー人材センター
		不定期清掃	外部委託保全費	400,400	館内床特別清掃(床洗浄、ワックス掛け) ガラス窓洗浄、配水管洗浄	1月	1回	業務委託	㈱JCC
人件費	受付管理業務	夜間受付管理	外部委託保全費	3,474,381	当日の受付業務(予約受付、利用料收受を含む)及び電話対応	開館日の17時30分～21時45分 予約受付業務はく17時30分～21時30分	年末年始の休日及び休館日以外	業務委託	(社) 芦屋市シルバー人材センター
植栽剪定費	設備維持管理	剪定・除草	外部委託保全費	269,229	植栽(中高木含む)の剪定、雑草の除去、草花の整備、寒肥	5月、6月、7月、8月、9月、10月、1月	7回	業務委託	(一般社団)ブランディング芦屋
		散水	—		南面灌水装置の配備、散水管理	随時	—	事務局職員	
警備員管理人件費	機械警備	機会警備	外部委託保全費	132,000	機械による、施設錠後の防犯・火災監視、非常通報サービス	施設錠後の時間全て	毎日	業務委託	セコム(株)
設備等点検費	保守点検	自家用電気工作物保守点検	外部委託保全費	274,032	高圧受電設備チェック、低圧電路の絶縁チェック、変圧器チェック	隔月、及び年2回のキュービクル点検	6回	保守契約	(財)関西電気保安協会
		エレベーター設備保守点検	外部委託保全費	798,600	毎月1回の遠隔点検、及び3月に1回の定期点検	遠隔点検: 毎月1回 定期点検: 6月、9月、12月、3月	16回	保守契約	日本オーチスエレベータ(株)
		冷暖房設備保守点検	外部委託保全費	264,000	冷暖房設備機器の保守点検2回(フロンガス点検4回を含む)	5月、8月、11月、2月	6回	保守契約	(有)TACエンジニアリング
		消防用設備定期点検	外部委託保全費	110,000	消防用設備点検、防火対象物点検	防火対象物点検・設備機器点検 4月、9月	2回	保守契約	東報サービス(株)
		駐車場設備保守点検	外部委託保全費	399,300	駐車場出入口設備の定期点検	6月、9月、12月、3月	4回	保守契約	アマノ(株)
		自動扉設備保守点検	外部委託保全費	154,000	正面入口、西入口自動ドアの保守点検	4月、7月、10月、1月	4回	保守契約	ナブコドア(株)
		環境衛生保全業務	外部委託保全費	99,000	消臭剤、配管内清掃剤の設置(補充、メンテサービス)	5月、7月、9月、11月、1月、3月	6回	保守契約	日本カルミック㈱
		テニスコート整地業務	外部委託保全費	115,200	テニスコートの整備	毎月2回・約2時間・・・1名	月2回	業務委託	NAMP JAPAN(有)
その他委託費	ピアノ保守点検業務		外部委託保全費	11,000	音階調律及び駆動部の全体点検	基本的に年1回(コンサート前)	1回	業務委託	森脇ピアノクリニック
	経理関連 税理士、会計システム利用料等		外部委託	1,036,475	経理伝票の入力、確認及び会計システムの運用	年12回	12回	顧問、委嘱契約	町田公認会計士事務所 NPO会計支援センター
委託料			合計	10,691,064					
施設の補修等		オープン設置に伴う電気配線工事	外部委託	165,000			—	外部委託	丸正建設
		調理実電圧変更工事	外部委託	176,000			—	外部委託	丸正建設
		自動散水ホース修繕	外部委託	17,050			—	外部委託	芦屋市水道工事事業協同組合
		屋外交流広場人工芝補修	外部委託	242,000			—	外部委託	ヨシダ興業
		多目的室空調分解洗浄	外部委託	228,800			—	外部委託	TAC
		庭園灯LED化	外部委託	187,000			—	外部委託	昌栄電工社
		パーキングシステム機器修理	外部委託	112,200			—	外部委託	アマノ
修繕費			合計	1,128,050					
管理費		総合賠償責任保険	保険料	42,125	総合賠償責任保険(館、屋外交流広場、敷地含む)対人対物(保険金額:1事故10億円迄) ※施設管理者(=指定管理者)の施設の管理不行き届き等により、施設利用者または第三者の身体や財物に被害を与え、その治療費用(身体)・復旧費用(財物)等に関する損害賠償責任を請求された場合に適用	令和6年4月2日～令和7年4月2日		代理店と契約	(株)ケージークレセント
		レジャー・サービス施設保険		78,880	災害による怪我の保証及び食中毒 (被災者対応200万) ※施設敷地内で、災害(火災、落雷、爆発、施設外からの物体の飛来、倒壊)による来場者の怪我の保証。	令和6年4月11日～令和7年4月11日		同 上	㈱インシュアランス・サービスの
		動産総合保険		17,725	金庫の現金資産保険(80万円迄)	令和6年4月11日～令和7年4月11日		代理店と契約	㈱インシュアランス・サービスの
		ボランティア保険		14,500	上記に担保されない理事・(事務局員)の傷害保険	令和6年4月7日～令和7年3月31日		直接契約	芦屋市社会福祉協議会
保険料			合計	153,230					